

熊楠ワークス

/ C / O / N / T / E / N / T / S /

第15回南方熊楠賞に柴岡弘郎氏

1~2面

第14回南方熊楠特別賞受賞記念講演

「南方熊楠と中国の書物」

飯倉照平氏

3~9面

熊楠ゆかりの地を訪ねる 23

法輪寺

中瀬喜陽氏

10面

南方熊楠邸蔵書・資料目録の刊行について

田村義也氏

11~12面

顕彰会が新体制に

最終面

昨年末に『絵解き 熊野那智参詣曼陀羅』という絵本を作りました。和歌山県内の書店やおみやげ屋さんにも、いつものように置いてもらいましたが、そのころ東京の世田谷美術館で開催中の「高野・熊野 祈りの道」という展覧会の会場でも販売してもらったところ、ここだけでひと月で500冊近くも出ました。

こんな片田舎の小さな会が作った本にしては、びっくりするくらいの冊数で、とてもありがたいことでした。一気にたくさん売れたのは、わたしの記憶では『絵本 南方熊楠特集』以来だと思っています。

ところで、今年ももうすぐ、熊野の風景の中にヤタガラスを隠して子どもたちに探してもらおうという絵本『ヤタガラスをさがせ!』を出す予定ですが、曼陀羅の本では「牛王(ごおう)」のことを、こんどの絵本では熊野の「烏」のことを調べるのに、わたしは今だに熊楠の著作を取りだしては、読んだり眺めたりしているのです。

それは、制作には直接関わりのないときでも、わたしにとってはイメージをふくらませ、刺激を受ける存在だからなのです。

